

子実とうもろこしキット 組付要領書

三菱コンバイン

適用型式

MCH1170、MCH1150(A)、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950

基本キット: C1170・C1170,B

ディバイダキット: D1150 D1150,W D1150,W32

【組み付け時の注意】

- ・組み付け、調整等を行うときは、本機を平坦な場所に置き、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。
- ・組み付けは、コンバインの取扱説明書を参照しながら行なってください。
- ・MCH1150(A)、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950 への装着時は追加部品の購入が必要となります。本冊子3ページ目の部品対照表を確認をお願いします。

作業工数 2人×4.0Hr

MCH1150(A)、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950

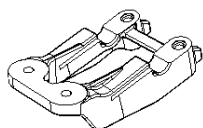
作業工数 2人×3.5Hr

MCH1170

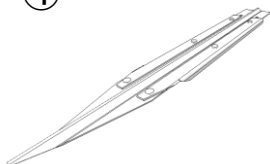
1.キットの種類と個数

部位	No.	部品コード	変更部品	個数	基本キット		デバイダーキット		
					C1170	C1170,B	D1150	D1150,W	D1150,W32
刈取部	1	9158 2006 310	ディバィダ(コン A	各 キ ツ ト の 個 数	-	-	12	16	20
	2	9751 0000 220	ホルト(カクネ 10X65				22	30	38
	3	9751 0000 230	ホルト(カクネ 10X70				2	2	2
	4	9158 2006 330	ディバィダCMP(コン C				12	16	20
	5	F154 0110 030	ホルト(バネ 10X 30				24	32	40
	6	9733 0004 900	コカタサツ 10				24	32	40
脱穀部	7	9751 0000 260	コンベア(30	6	○	○	-		
	8	9751 0000 250	プレート(カクサ R	8	○	○	-		
選別部	9	9751 0000 340	フルイ(グレシナル 15C	1	○	○	-		
	10	9751 0000 350	エクステンション(シーブ C	1	○	○	-		
	11	9751 0000 320	フルイ(チャフB	1	○	○	-		
	12	9718 0010 630	ソバカバ-	1	○	○	-		
	13	9751 0000 330	フルイ(コクリュウ インチヨウC	1	○	○	-		
	14	H154 0108 020	ホルト(ヒラ+バネ8X20	3	○	○	-		
グレン	15	9732 0000 480	タテコンベア(マメ	1	-	○	-		
掃除蓋・大豆用	16	9736 0000 120	カバ-(ソウシマ マメ	1	-	○	-		
	17	9469 0031 401	2バンスウシマフタ(マメ	1	-	○	-		

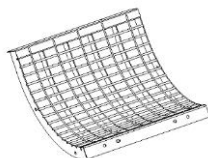
①



④



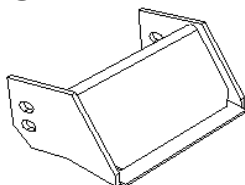
⑦



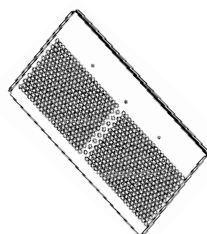
ボルト & ナット締付トルク

呼び径	締付トルク(N・m)
M6	8~12
M8	23~29
M10	44~59
M12	79~98
M14	118~147

⑧



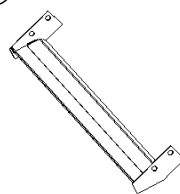
⑨



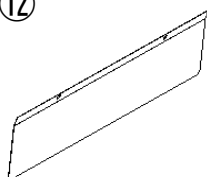
⑩



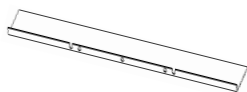
⑪



⑫



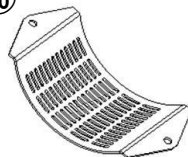
⑬



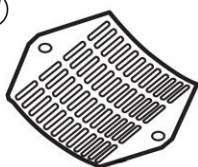
⑮



⑯



⑰



搭載機種ごとの部品対照表

MCH1150(A)、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950 への装着時は下記対照表を確認頂き、部品を購入お願いします。

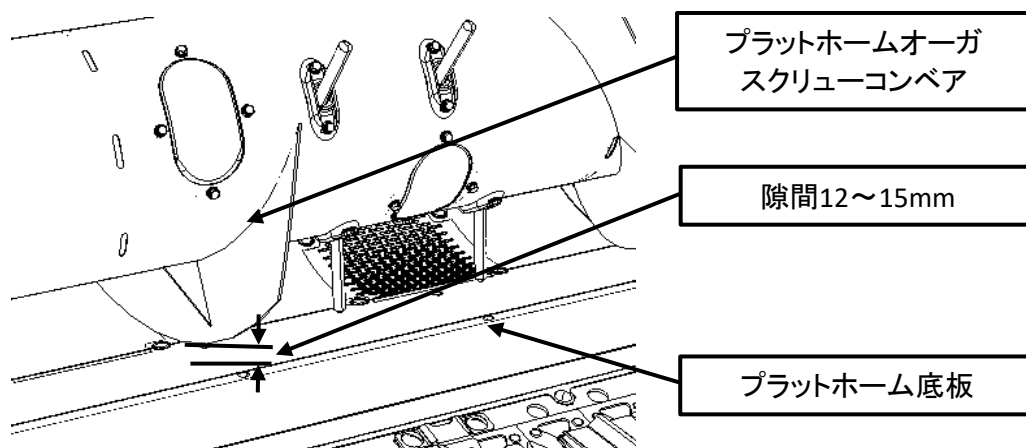
部位	No	部品名称・コード		使用数量/部品			
				MCH1150A	MCH1150 MCH1140	MCH1100	MCH980 MCH950
脱穀部	1	9469 0031 330	Vフーリ 410 B4(マメ)	1	1	1	1
	2	9469 0032 241	Vベルト トクB 85 H	4	4	4	4
	3	9751 0000 240	Vフーリ(187B1	1	1	1	0
	4	9751 0000 370	Vフーリ(187B1	0	0	0	1
選別部	5	9751 0000 270	フルイ(マル 15B	0	1	1	1
	6	9751 0000 290	フルイ(エンチョウ 60	0	1	1	1
グレン	7	9718 0010 230	タテコンベア (マメ	0	0	0	1
掃除蓋	8	9718 0000 220	カブソウジフタ(マメ	0	0	1	1

2. 刈取部各部の調節

⚠ 警告 プラットホームオーガを手で回転させるときは、刈刃やリールが動くので、十分注意してください。

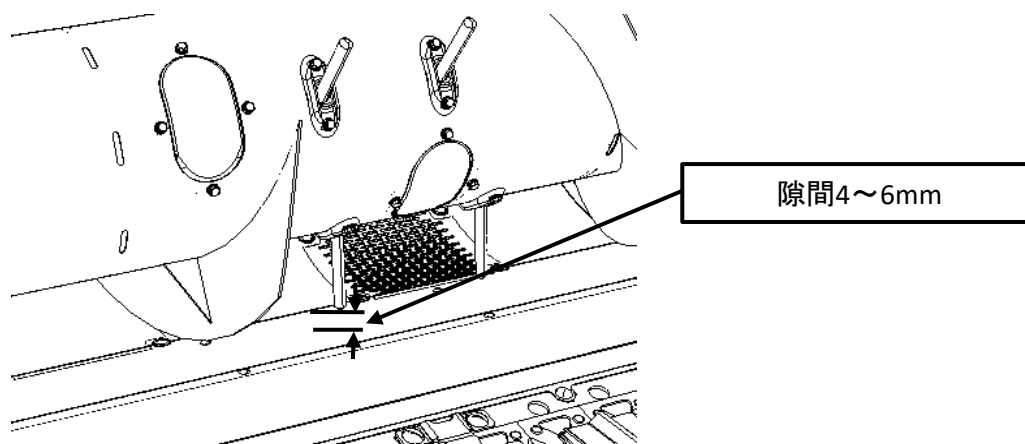
(1) プラットホーム底板とスクリュコンベアのすき間を、12～15mmに調節してください。

※詳細は取扱い説明書「4章お手入れのしかた」の「プラットホーム底板とスクリュコンベアのすき間調節のしかた」を参照してください。



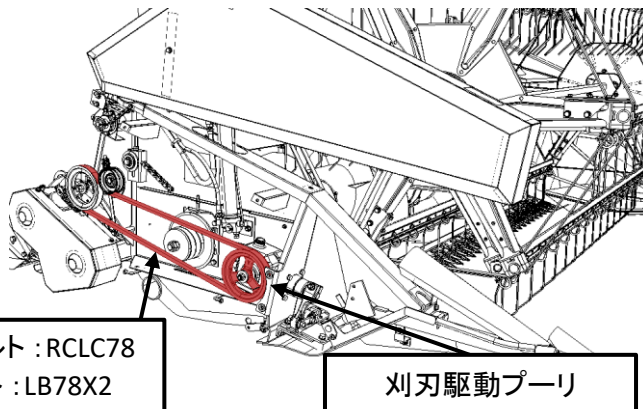
(2) プラットホーム底板とオーガフィンガの隙間を、4～6mmに調節してください。

※詳細は取扱い説明書「4章お手入れのしかた」の「プラットホーム底板とオーガフィンガのすき間調節のしかた」を参照してください。



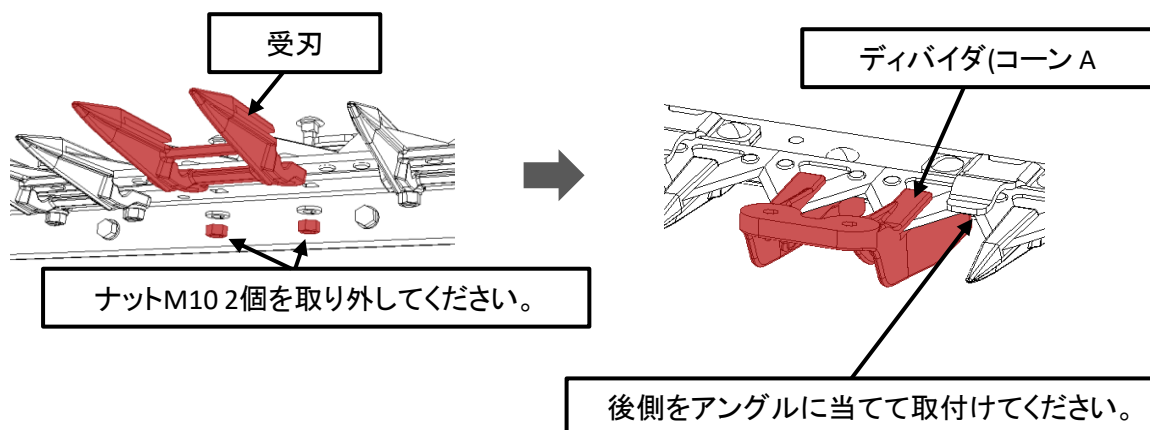
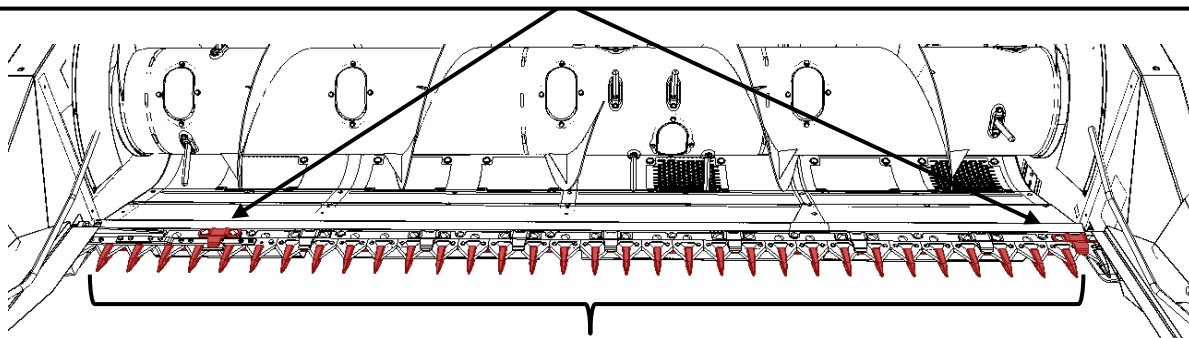
3. 受刃の組替とディバイダの組付(刈取部)

- (3) 平坦な場所に本機を止め、駐車ブレーキをかけてください。
- (4) エンジンを始動させ、リールを上げ、刈取部を上げてください。
- (5) エンジンを停止してください。
- (6) 安全のため刈取部のストッパーと油圧ストッパをしてください。また、リジットジャッキ等で保持してください。
- (7) 刈取サイドカバー右を外し、刈刃駆動ベルトを外してください。
刈刃駆動プーリが手で回ることを確認してください。



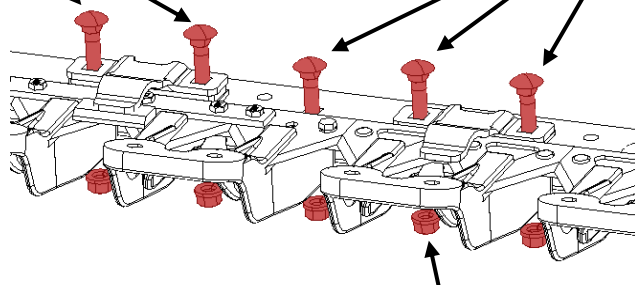
- (8) 受刃を、ディバイダ(コーン A)に組み替えてください。

刈刃がずれないように、両端のナイフクリップと固定されている受刃を最後に交換してください。



機体右端のナイフクリップと共締め箇所は、
カクネボルト10X70を使用してください。

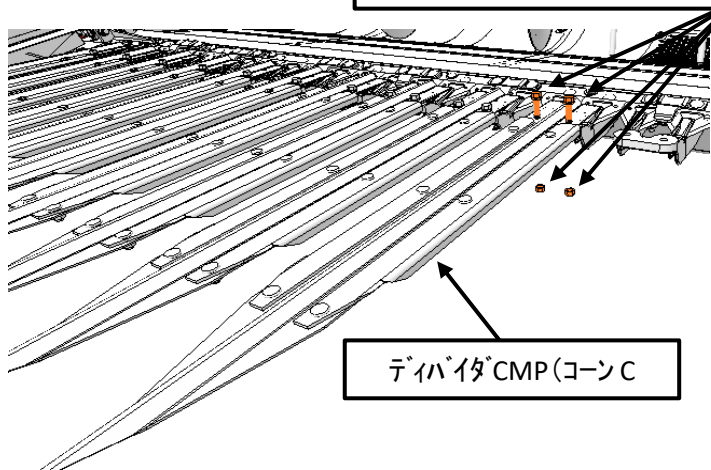
カクネボルト10X65を使用してください。



取り外したナットM10とバネ座金で取り付けてください。

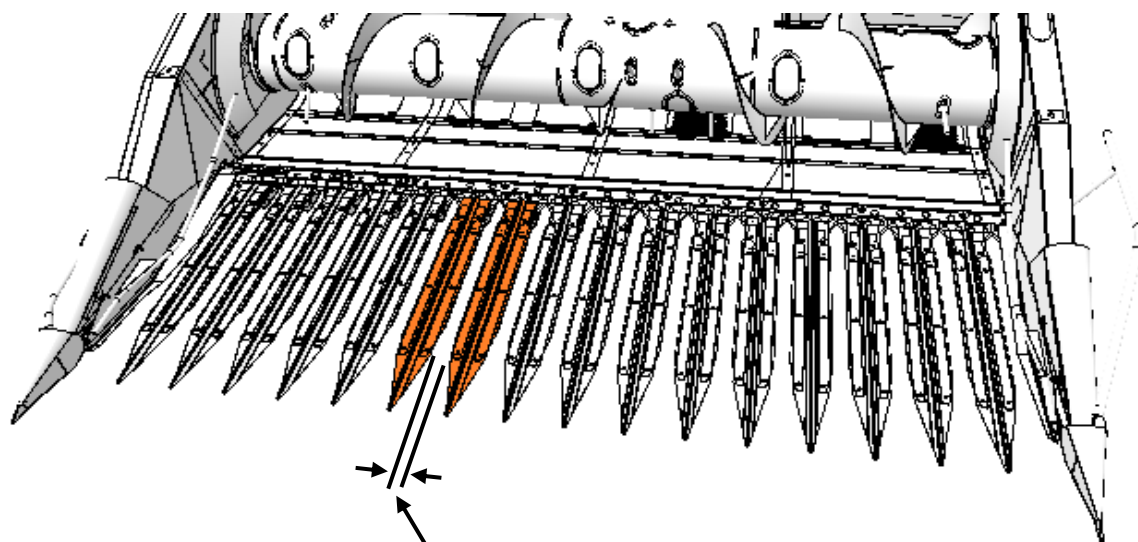
(9)ディバイダ(コーンAに、ディバイダCMP(コーンCを取り付けてください。

ボルトM10X30 2本、ナットM10 2個で取り付けてください。



2.0mヘッダー: 12個
2.5mヘッダー: 16個
3.2mヘッダー: 20個
取り付けてください。

ディバイダCMP(コーンC



隙間が38~43mmになるように、取り付けてください。

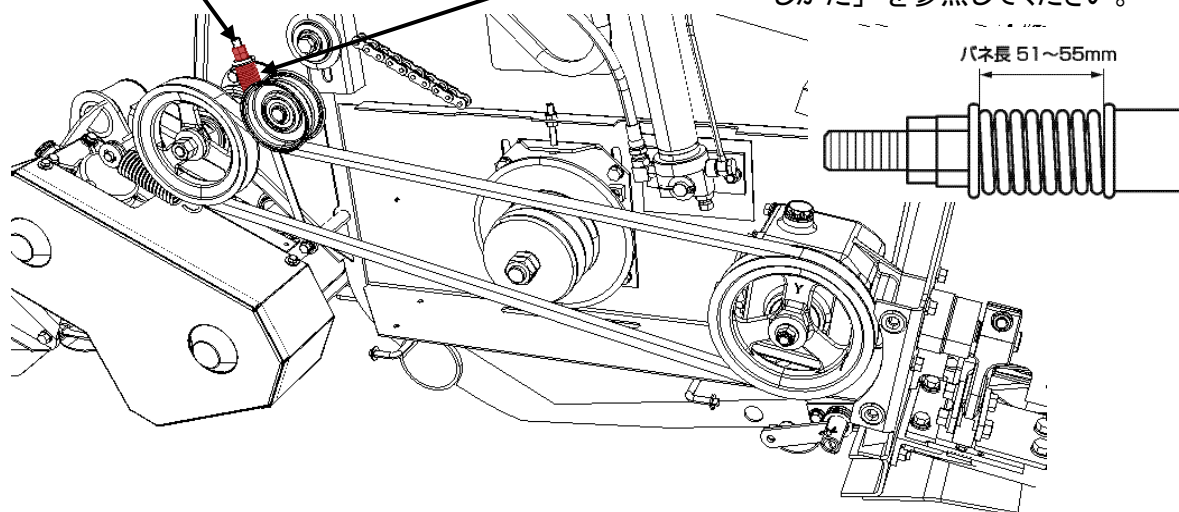
梱包時、ディバイダCMP(コーンCは最大隙間(38~43mm)になるよう仕組んでいます。
隙間は、作業状態に合わせて適宜調節してください。
片側7mmの調整代があり、最小隙間は、24~29mmです。

(10)刈刃駆動プーリが手で回ることを確認し、刈刃駆動ベルトを取り付け、テンションネジを51～55mmに調整してください。

ナットM10で調整してください。

テンションバネ

※詳細は取扱い説明書「4章お手入れのしかた」の「各部ベルトの点検・調節のしかた」を参照してください。



(11)刈取サイドカバーを取り付けてください。

4. 脱穀下網の組替(脱穀部)

(12)ロータカバーをオープンします。

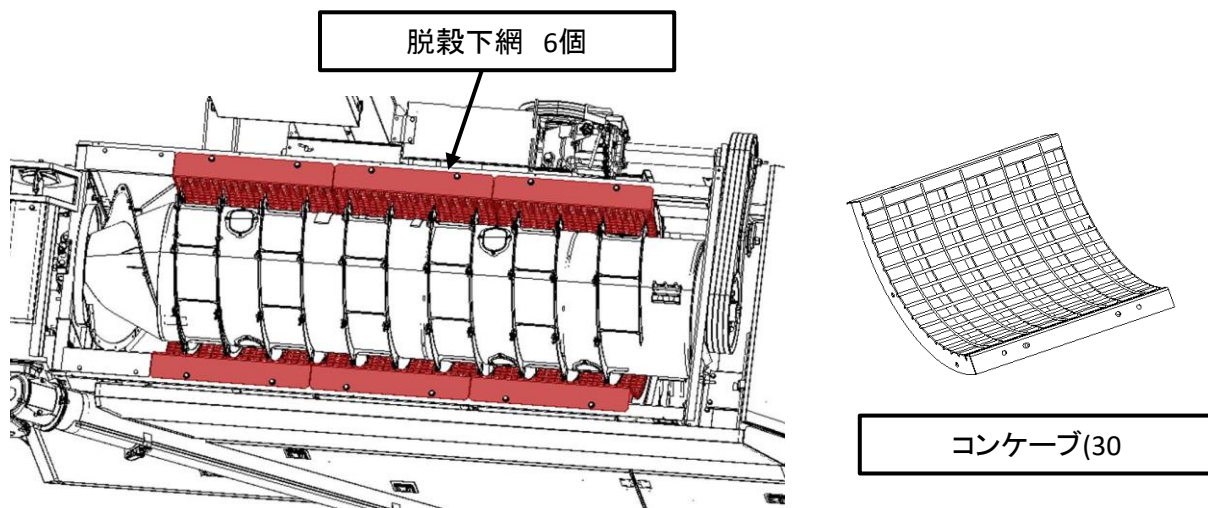
※詳細は取扱い説明書「4章お手入れのしかた」の「ロータカバーのオープンのしかた」を参照してください。

警告

作業クラッチレバーを「OFF」位置にして、エンジンを停止した直後は、慣性でロータが回転しています。クラッチ「切」後ロータが回転している間は、絶対にカバーを開けないでください。

(13)脱穀下網を、コンケーブ (30)に入れ替えてください。

※詳細は取扱い説明書「4章お手入れのしかた」の「脱こく下網の脱着のしかた」を参照してください。

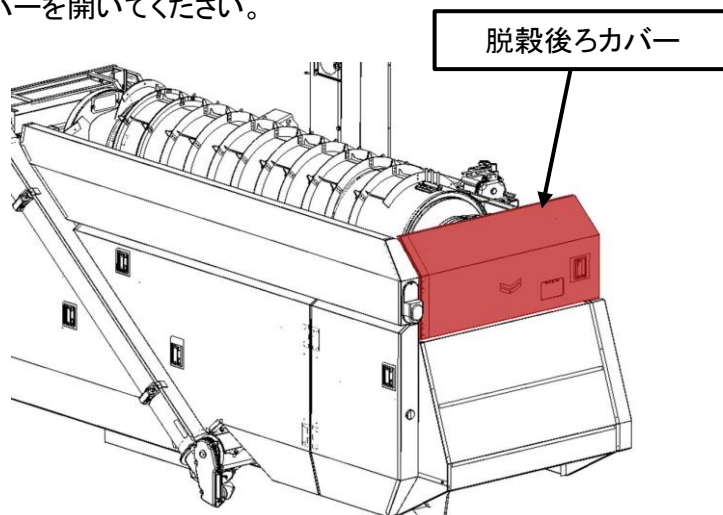


5. ロータ駆動プーリの組替(脱穀部)・・・MCH1150(A)、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950

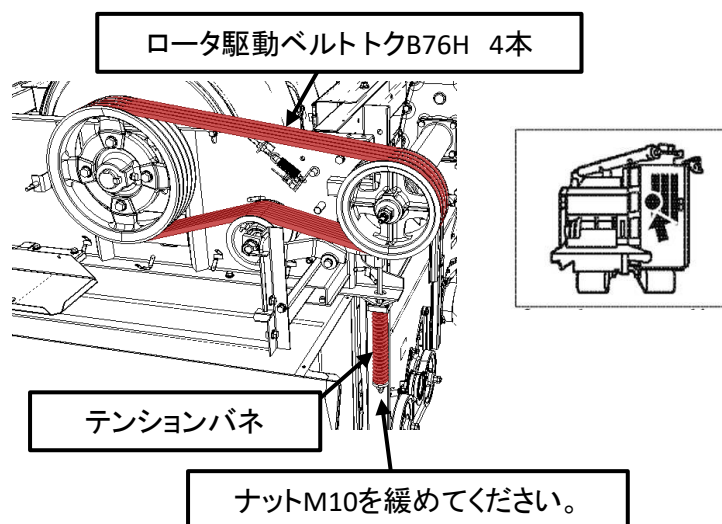
※MCH1170はロータ回転変速が可能なのでこの作業は必要ありません。

脱穀後部のレバーを『コーン』位置に切り替えてください。

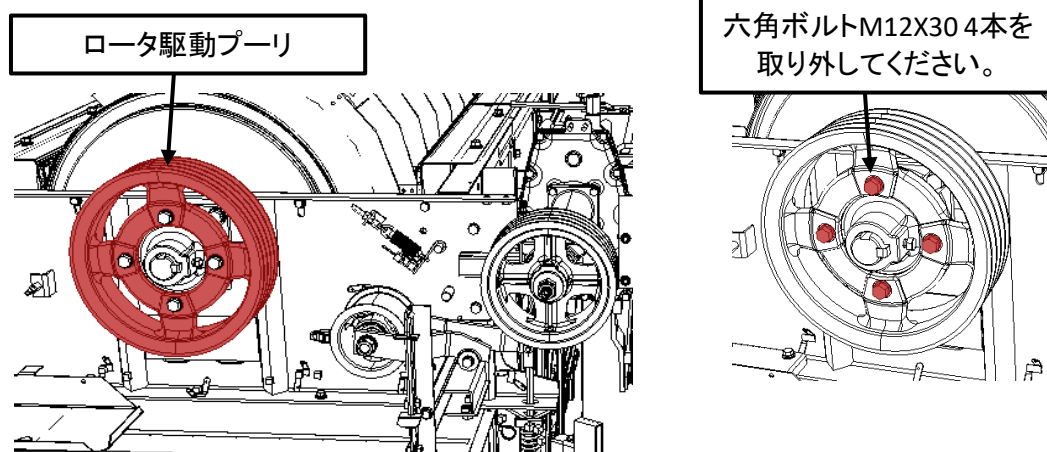
(14)脱穀後ろカバーを開いてください。



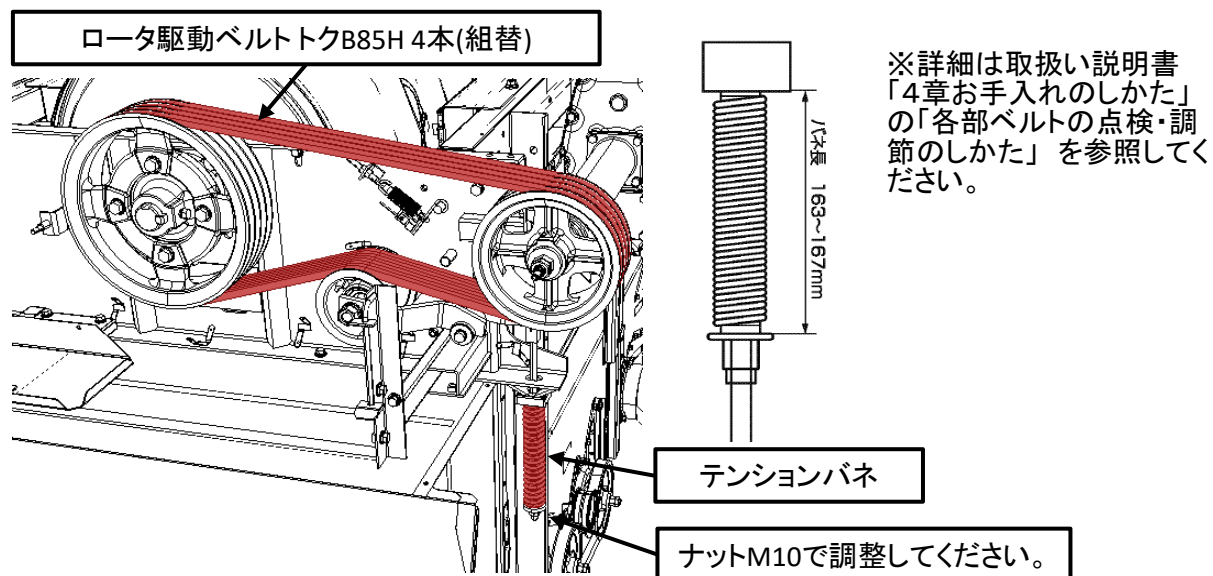
(15)エンジン後ろカバーを開き、テンションバネを緩めて、ロータ駆動ベルトを外してください。
※詳細は取扱説明書「4章お手入れのしかた」の「各部ベルトの点検・調節のしかた」を参照してください。



(16)ロータ駆動プーリをVプーリ 410 B4(マメ)に組み替えてください。(φ300→φ400)

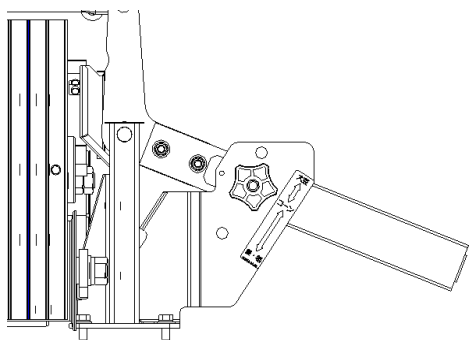


(17)ロータ駆動ベルトをVベルトトクB85Hに取り替えて、テンションバネを163～167mmに調節してください。



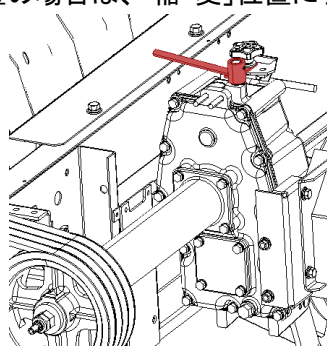
【MCH1170】

ロータの回転切り換えレバーを「コーン」位置に切り替えてください。
(工場出荷時は「稲・麦」になってます。)



【MCH1150(A)、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950】

ロータの回転切り換えが、「稲・麦」位置であることを確認してください。
(工場出荷時は「稲・麦」になってます。)
「大豆」位置の場合は、「稲・麦」位置に切り換えてください。



6. 唐箕駆動プーリの組替(脱穀部)・・・MCH1150(A)、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950

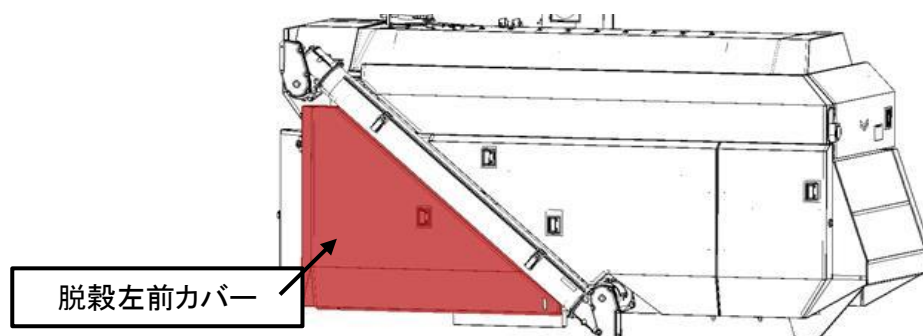
※MCH1170 は唐箕回転変速が可能のためこの作業は必要ありません。

センターメータで収穫作物を『コーン』に変更してください。

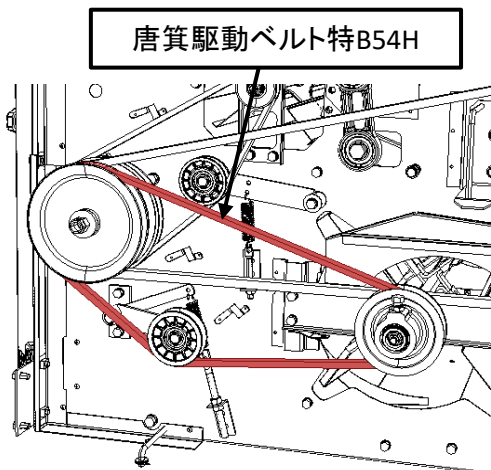
(後項の「作業情報設定方法」参照)

(18)脱穀左前カバーを開いてください。

※詳細は取扱い説明書「4章お手入れのしかた」の「脱こく左前・左後カバーのオープンのしかた」を参照してください。

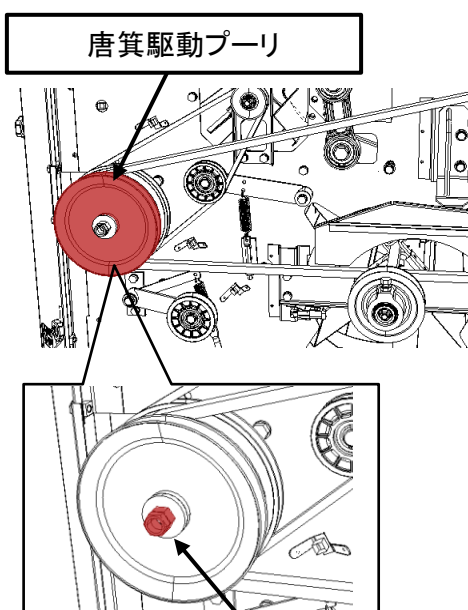


(19)唐箕駆動ベルトを外してください。

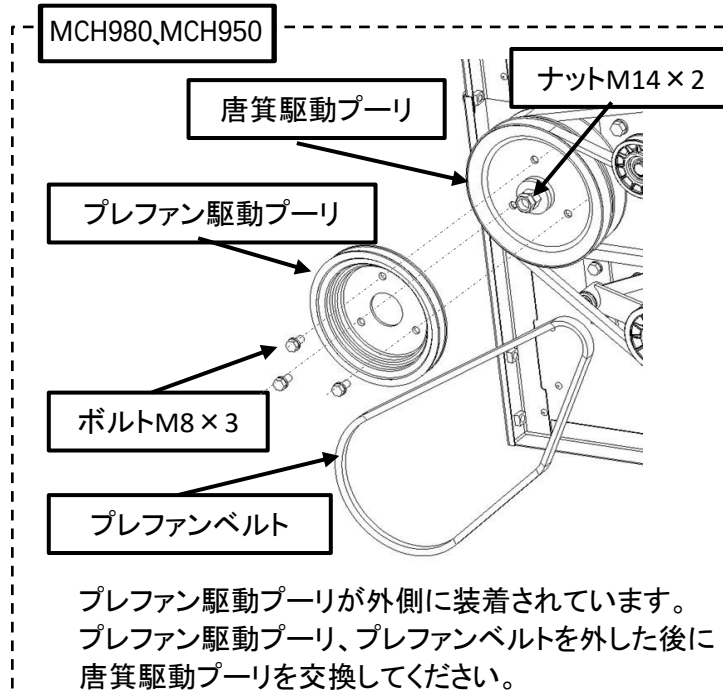


(20)唐箕駆動プーリをVプーリ(187B1)に組み替えてください。(φ170→φ187)

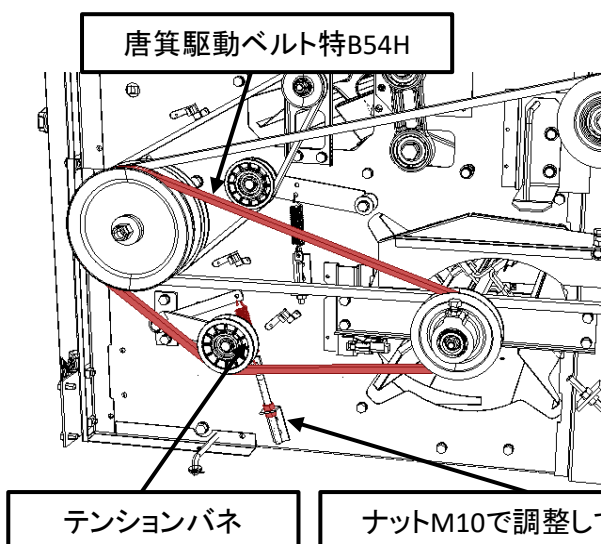
※ MCH980、MCH950 は別途手配の 9751 0000 370 Vプーリ(187B1)に交換してください。



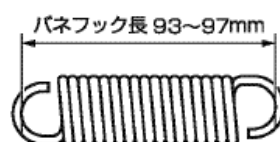
ナットM14×2で固定されています。



(21)同じ唐箕駆動ベルトを取り付けて、テンションバネを93～97mmに調節してください。

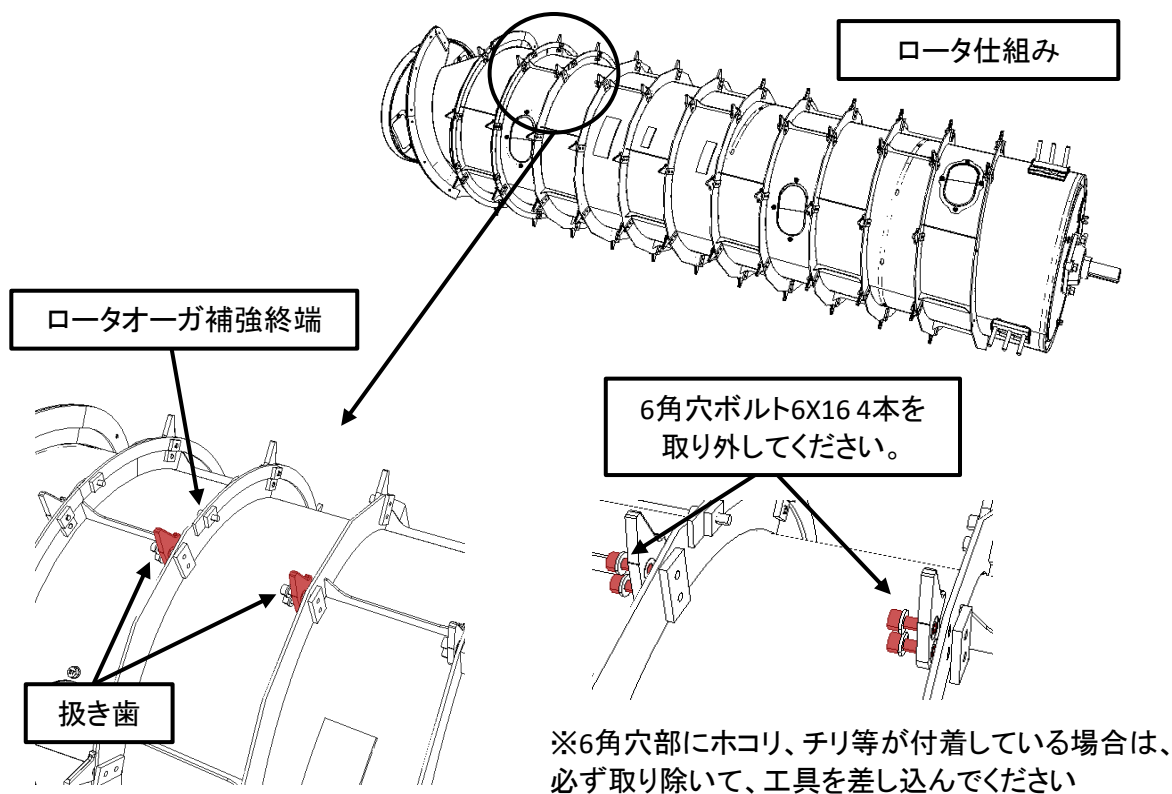


※詳細は取扱い説明書「4章お手入れのしかた」の「各部ベルトの点検・調節のしかた」を参照してください。

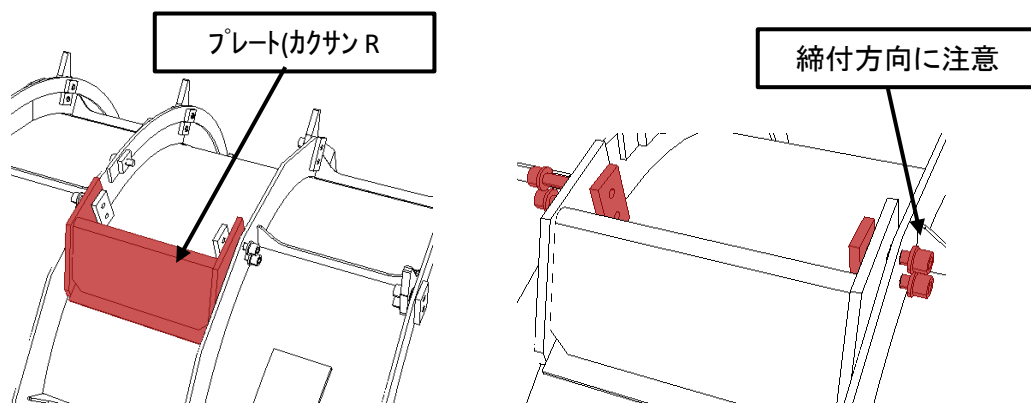


7. ロータの組替(脱穀部)

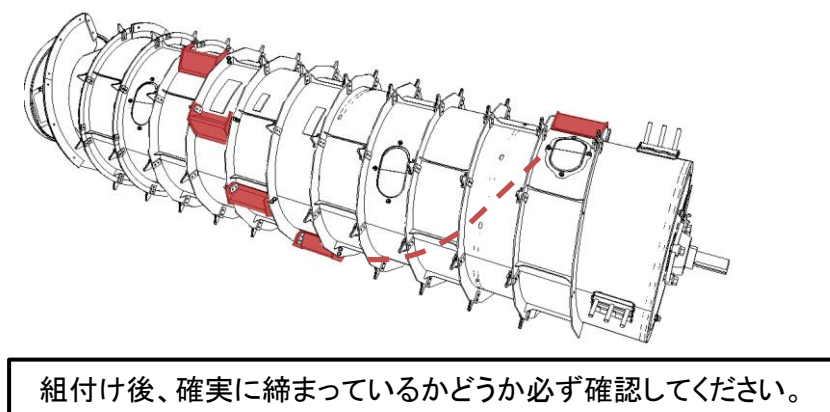
(22)ロータオーガ補強の終端の扱き歯を、取り外してください。



(23)取り外したボルト、角ナットを利用し、プレート(カクサンR)を下図の通り取り付けてください。



(24)後方に扱き歯1つ分、ラセンを1列ずつ、ずらしながら、同様に取り付けてください。(全8個)

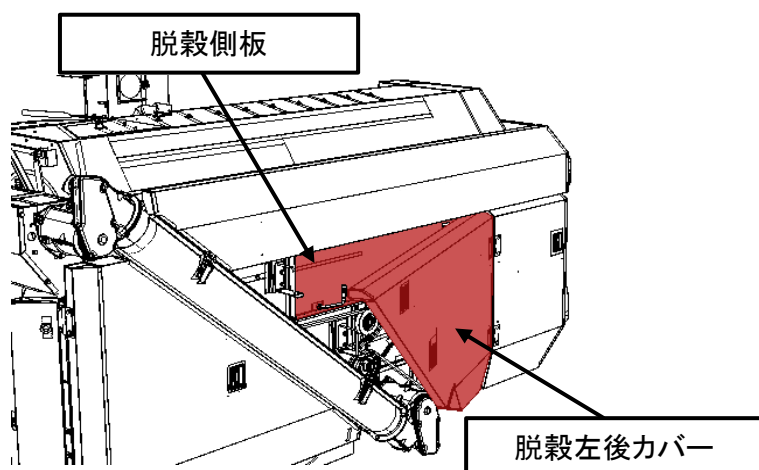


8. チャフBフルイの組替(選別部)・・・MCH1170、MCH1150A

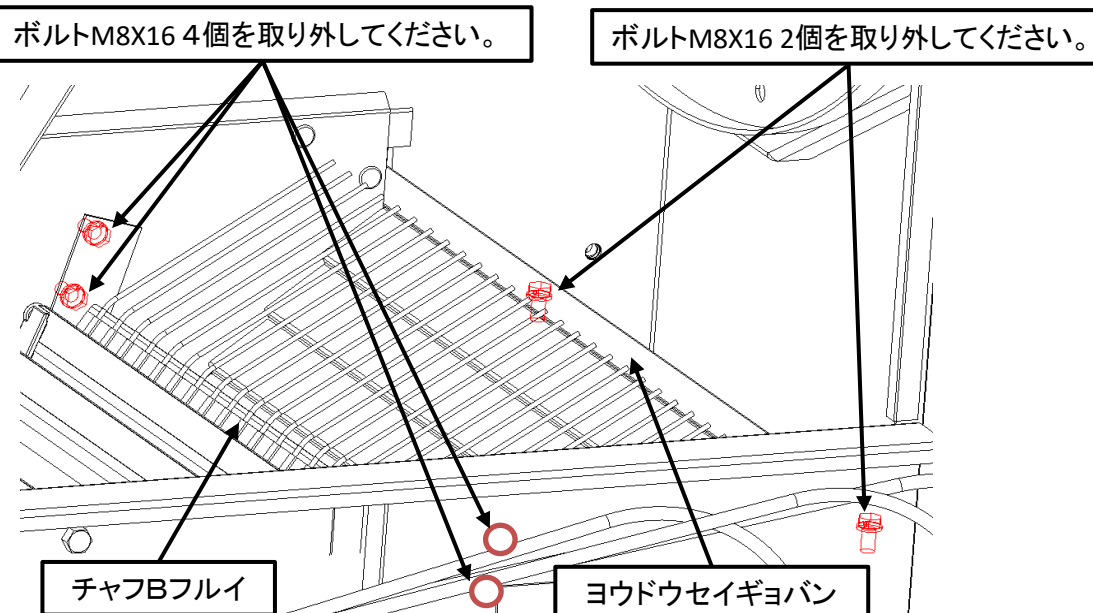
※MCH1150、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950については「9. グレンシーブの組替(選別部)」をご確認ください。

(25)脱穀左後カバーを開いて、脱穀側板を外してください。

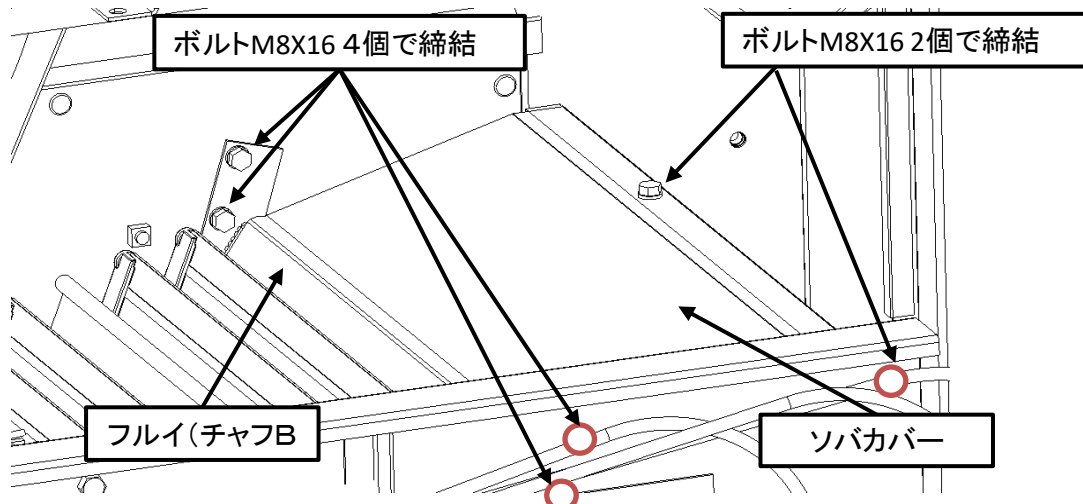
※詳細は取扱い説明書「4章お手入れのしかた」の「脱こく側板の外しかた」を参照してください。



(26)チャフBフルイとヨウドウセイギヨバンを外してください

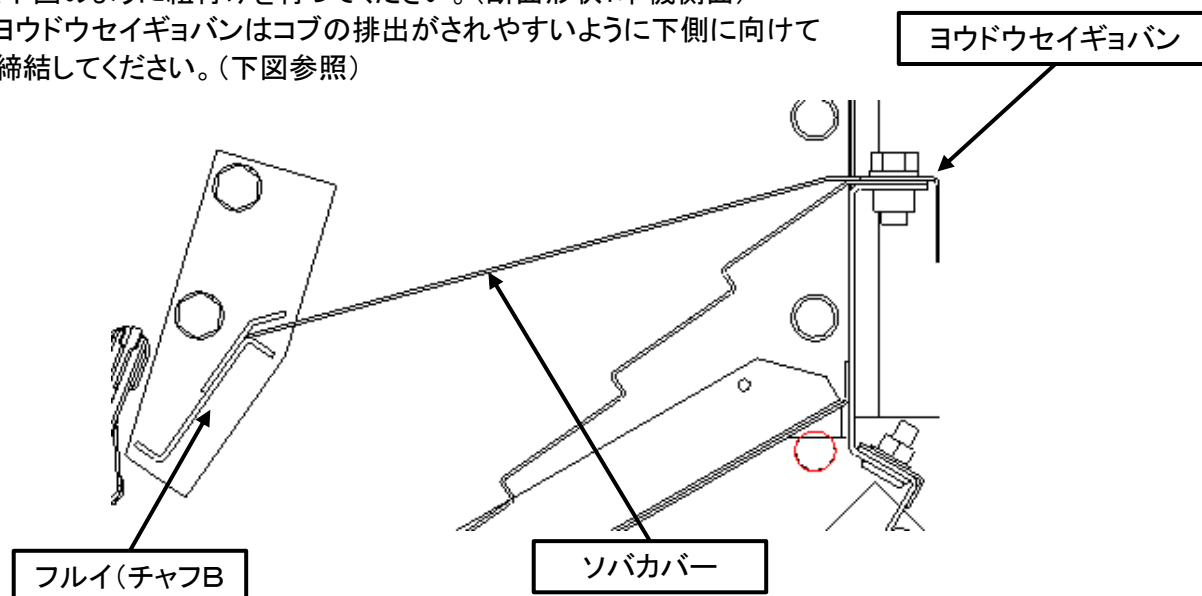


(27)フルイ(チャフBを締結し、ソバカバーを差し込み、ヨウドウセイギヨバンと締結してください。



※下図のように組付けを行ってください。(断面形状:本機側面)

ヨウドウセイギョバンはコブの排出がされやすいように下側に向けて
締結してください。(下図参照)

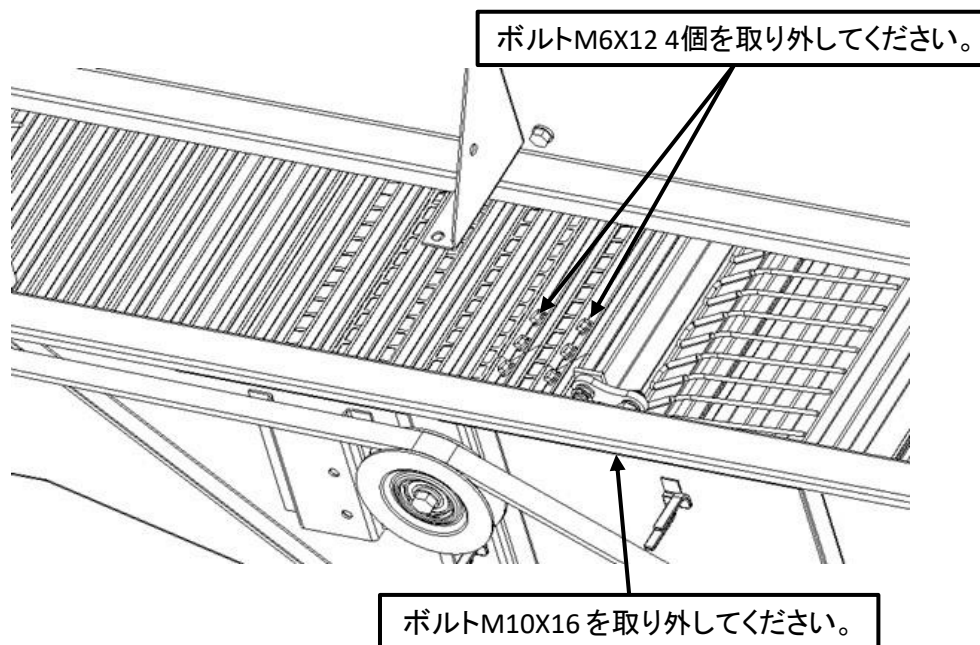


9. グレンシーブの組替(選別部)・・・MCH1170、MCH1150A

※ MCH1150、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950

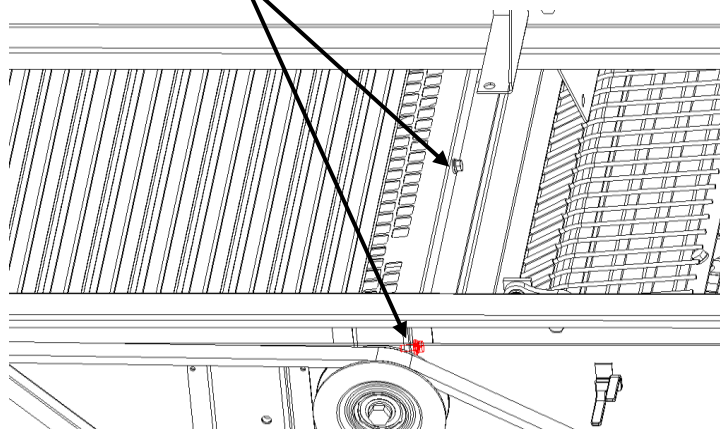
については「8. グレンシーブの組み換え(選別部)」をご確認ください。

(28)チャフ(フルイを2列外してください)

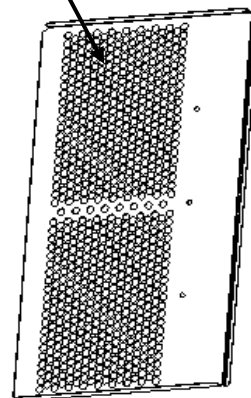


(29) グレンシーブをフルイグレン(マル15Cに組み替えてください。

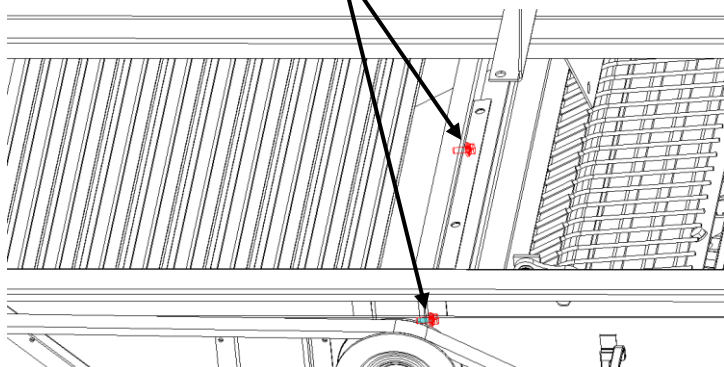
ボルトM6X16 2個を取り外してください。



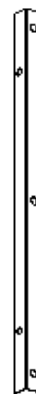
フルイ(グレンマル 15C



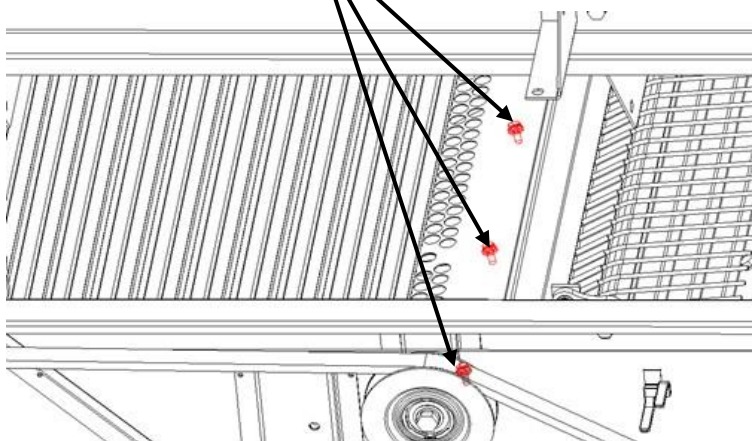
ボルトM6X16 2個でエクステンション(シーブCを締結する。



エクステンション(シーブC



ボルトM8X20 3個でフルイ(グレンマル 15Cを締結する。



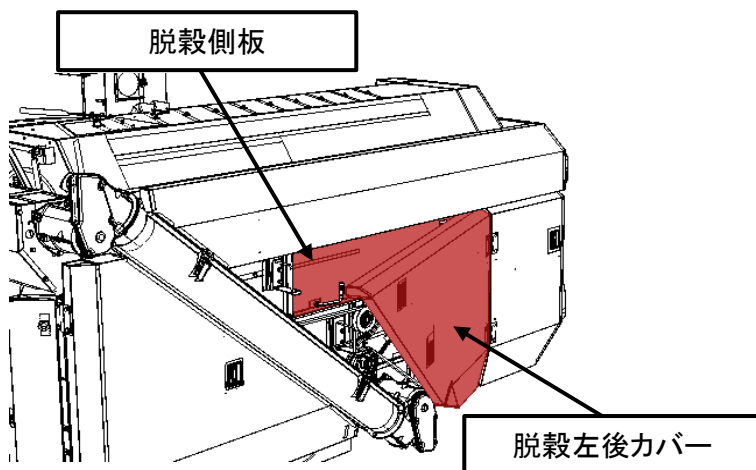
(30) 取り外したチャフ(フルイを元通り取り付けてください。

(31) 選別部、脱穀部のカバーを、逆の手順で取り付けてください。

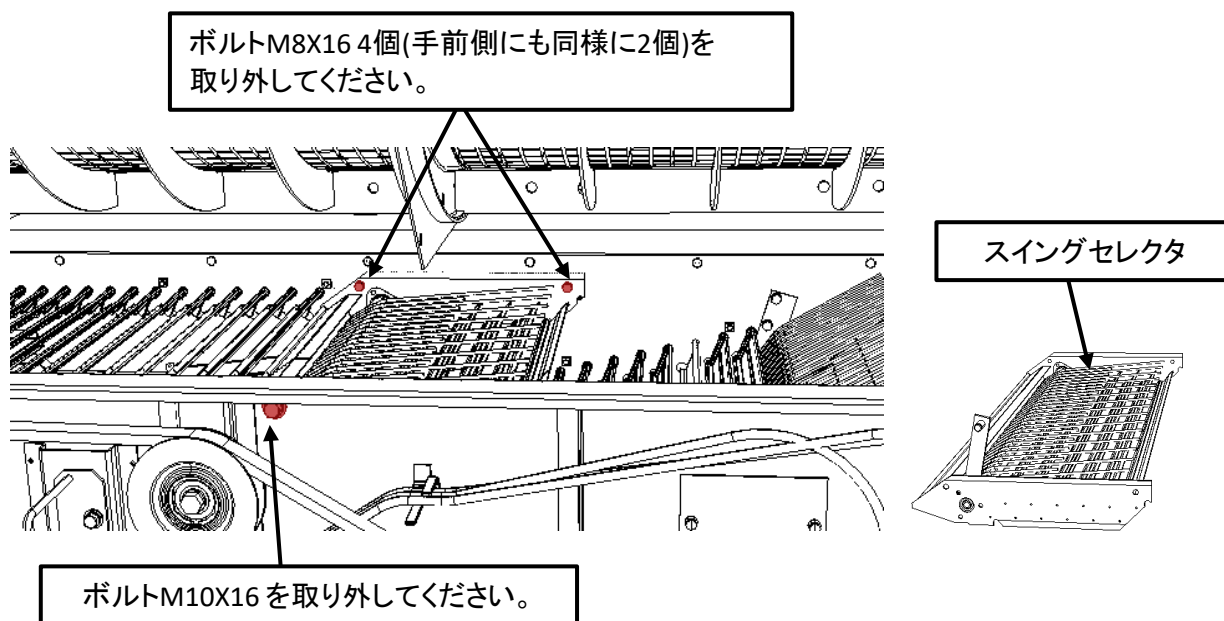
※選別が悪い時には、グレンシーブをフルイ(グレンマル12(大豆用)に組み替えて、フルイ(コクリュウ エンチャウ)を、グレンシーブに装着してください。(M8ボルトX3本: グレンシーブと共締め)

8'. グレンシーブの組み換え(選別部) ... MCH1150、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950
※9751 0000 270フルイ(マル 15B 及び 9751 0000 290 フルイ(エンチョウ 60が別途手配必要となります。

(25)脱穀左後カバーを開いて、脱穀側板を外してください。
※詳細は取扱い説明書「4章お手入れのしかた」の「脱こく側板の外しかた」を参照してください。

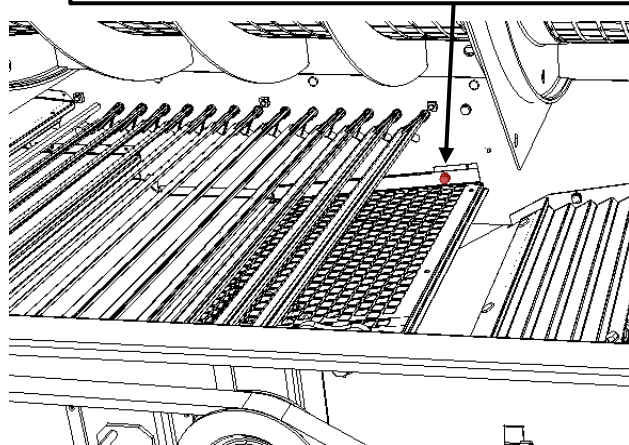


(26)スイングセレクトを外してください。

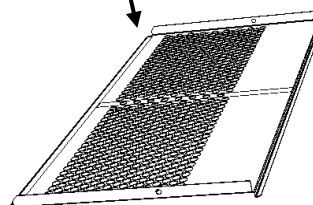


(27) グレンシーブをフルイ(マル15B)に組み替えてください。

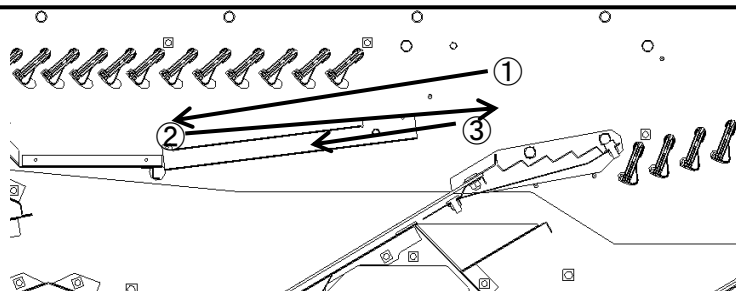
ボルトM8X16 2個(手前側にも同様に1個)を取り外してください。



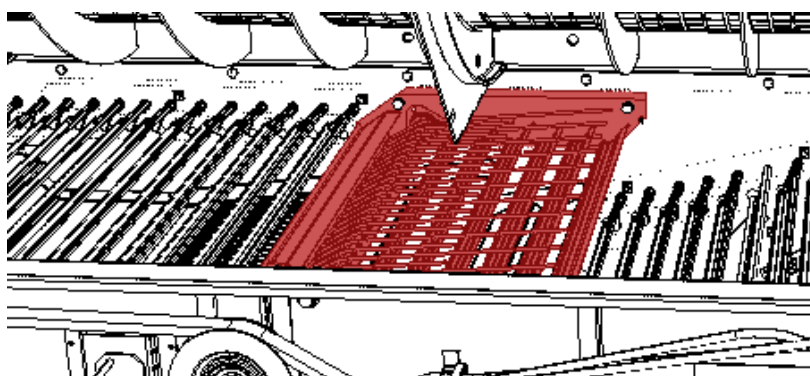
フルイ(マル15B)



フルイ(マル15B)を組付ける場合①②③のようにフルイを移動し組付けてください。
※直接③の順番で組付けようとすると入りませんので注意してください。



(28) 取り外したスイングセレクトを元通り取り付けてください

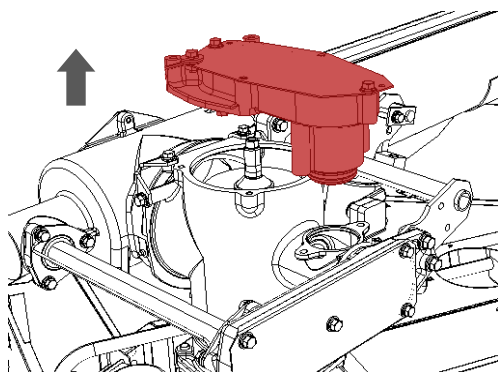
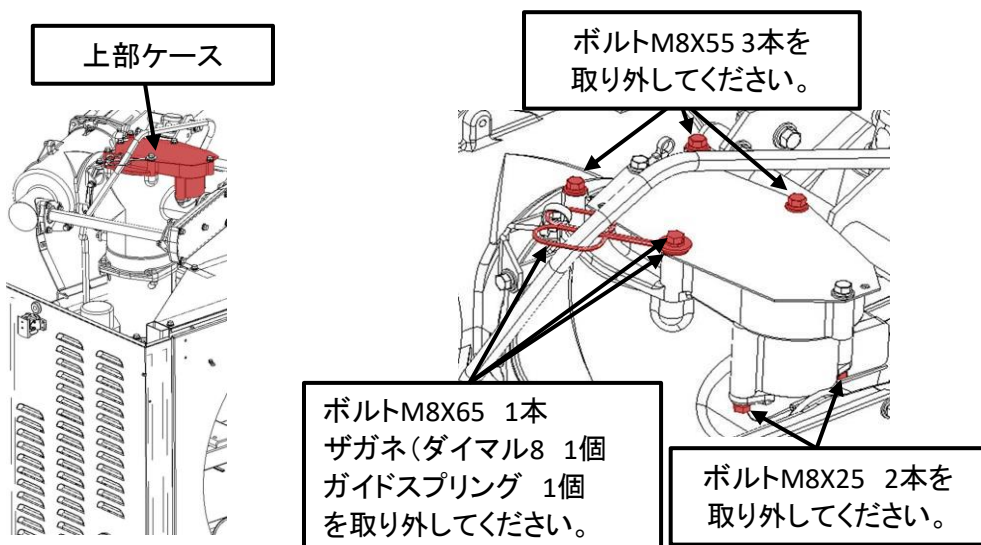


※選別が悪い時には、グレンシーブをフルイ(丸12(大豆用))に組み替えて、フルイ(延長60をグレンシーブに装着してください。(ツバ付きナット6を4個で固定)

(29) 選別部、脱穀部のカバーを、逆の手順で取り付けてください。

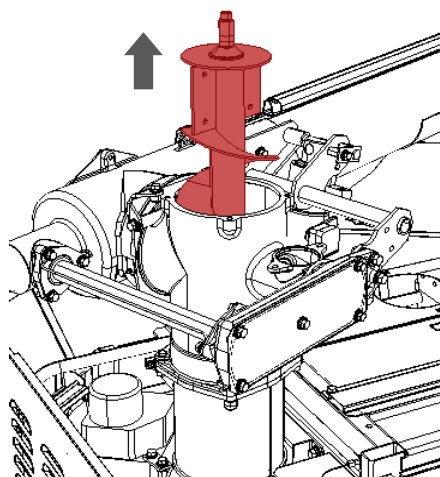
10. オーガ縦コンベアの組替(グレン部)

(32)上部ケースを上方に抜いてください。



※上部ケースを引き抜いた時、ギヤケース内に、チリ等が侵入しないように気を付けてください。

(33)オーガ縦コンベアを上方に抜いてください。



※上下スプライン部にグリスを塗布してください。

(34)オーガ縦コンベアを、タテコンベア(マメ)に組み替えて、逆の手順で取り付けてください。

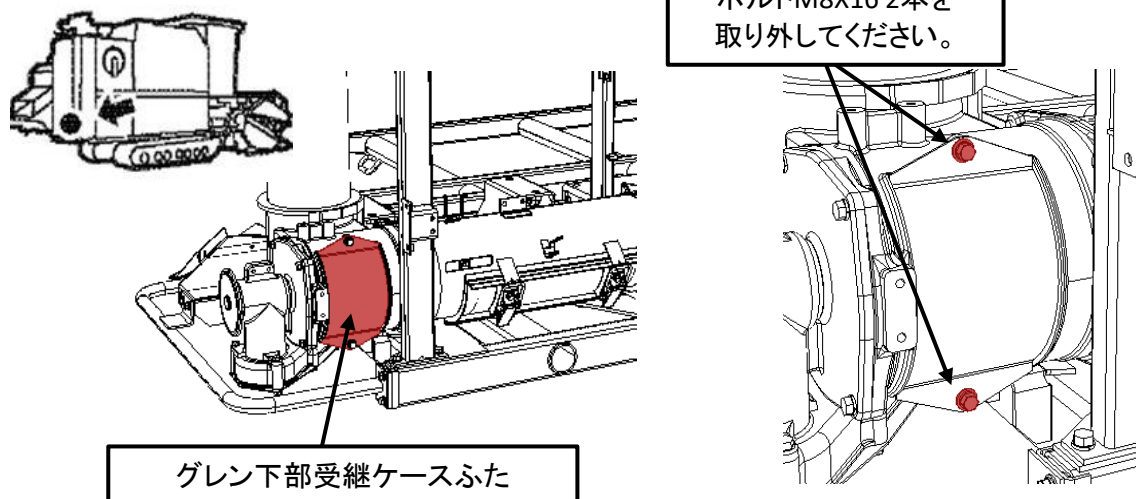
※MCH980、MCH950は別途手配の 9718 0010 230 タテコンベア(マメ)に交換してください。

※試運転時には、オーガ縦コンベアと、縦オーガ筒が干渉していないことを、必ず確認してください。

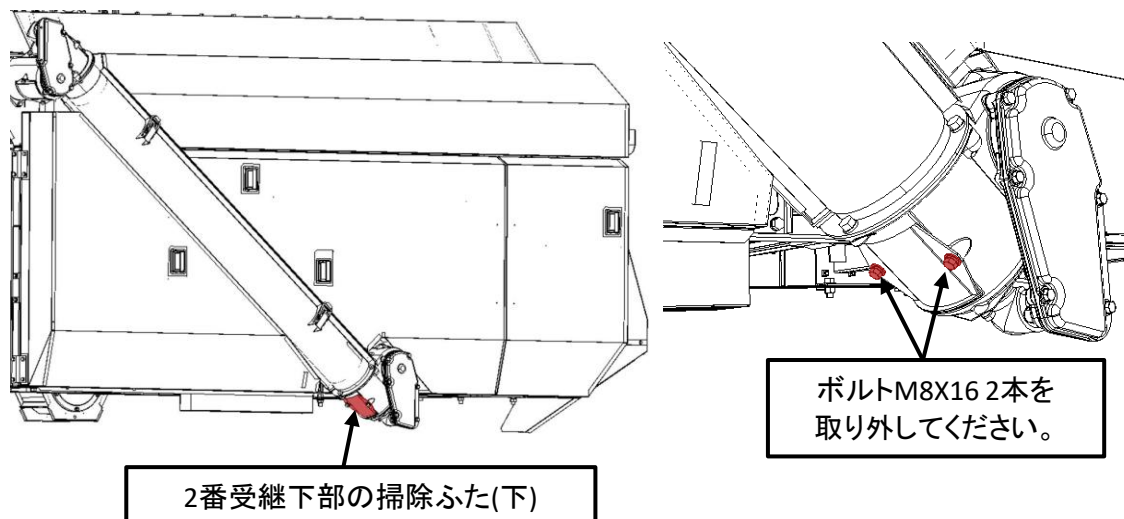
11. 掃除ふたの組替

(35) グレン下部受継ケースふたを、カバー(ソウジ マメ)に組み替えてください。

※ MCH1100、MCH980、MCH950は別途手配の 9718 0000 220 カブソウジフタ(マメ)に交換してください。

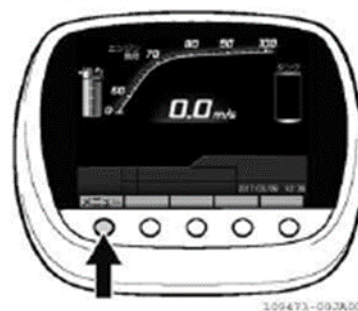


(36) 2番受継下部の掃除ふた(下)を、2バンソウジフタ(マメ)に組み替えてください。



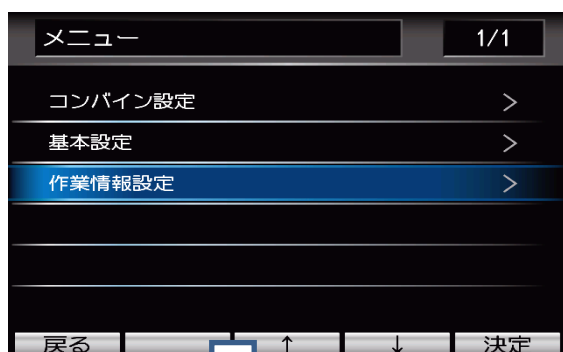
12. 作業情報設定方法・・・MCH1170

(37)センターディスプレイで作業情報設定を変更してください。
※詳細は取扱い説明書「4章運転の仕方」の「基本設定のしかた」を参照してください。

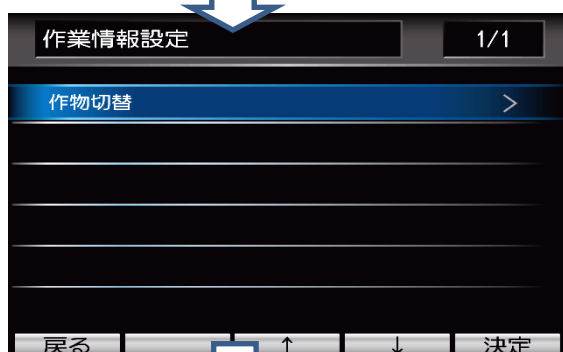


「メニュー」(スイッチ)を押します。メニュー画面が表示されます。

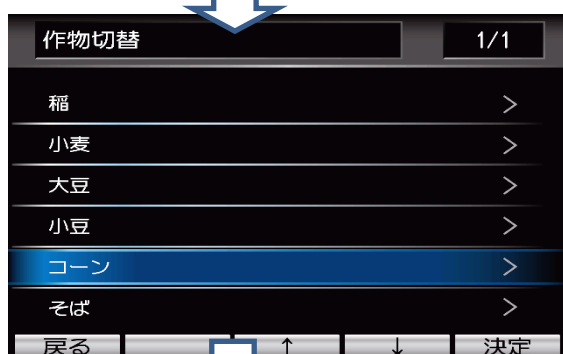
作業情報設定



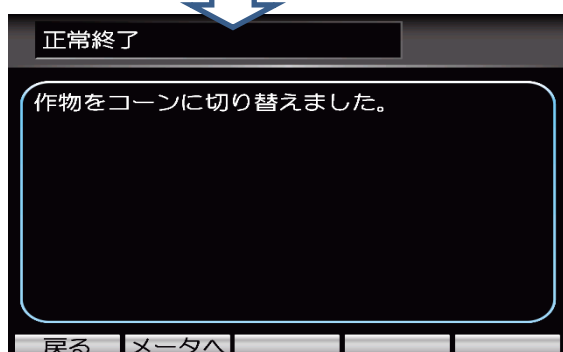
「作業情報設定」を選択して決定を押してください。



「作業切替」を選択して決定を押してください。



「コーン」を選択して決定を押してください。



作物をコーンに切り替えました。

以上で作業は終わりです。

13. 使用上の注意

各部の調節：標準位置にセットし、作業を開始してください。

調節条件	MCH1170	MCH1150(A)、MCH1140、MCH1100、MCH980、MCH950
①刈高さ	子実とうもろこし着実位置より下約50cm	
②エンジン回転数	2500rpm	
③副変速シフト位置	標準	
④送塵弁開度	9	
⑤ロータ回転数	525rpm (ロータ駆動変速レバー位置:コーン位置)	517rpm (ロータ駆動変速レバー位置:稲麦位置)
⑥クリーンシフトレバー	2	2
⑦唐箕回転数	1235rpm(収穫作物:コーン)	1191rpm

【子実とうもろこし収穫用取替え部品に関して】

- 1.MCHコンバインにおいて子実とうもろこしの収穫をする際には取替え部品が必要となります。
その際には作業速度、または、各部回転数など収穫するコーンの水分や草丈に合わせてコンバインを調整する必要があります。
高水分のとうもろこし(25%)、作業速度0.83m/secを限度とし遵守してください。
大きな破損事故につながる恐れがあります。
- 2.コーンディバイダを装着した状態で、リールを最下まで下げるとディバイダとリールタインが干渉します。
リールの位置に注意してください。
- 3.子実とうもろこしを右ディバイダいっぱいまで取り込むと
下図矢印部に子実とうもろこしが挟まり停滞・つまりの原因になりますので注意してください。

